

乙女高原が好き！1201号

今年も乙女高原で会いましょう 2011年度総会で 2012年度の計画が決まりました

3月11日、午後1時半から有志で準備。多くの方が準備や受付事務をしてくださいました。そして、定刻の2時には総会を開始。参加者は21人。委任状は111人分。合計132人で、普通会员の過半数である114名以上なので、総会が成立したことを司会の三枝さんが宣言。代表世話人あいさつは宮原さん。前代表世話人である古屋さんも元気な姿を見せてくださり、あいさつしてくださいました。

議事の議長は代表世話人の宮原さん。2011年度活動報告は事務局の植原から。スクリーンに写真を映し出して報告させていただきました。会計報告は内藤さんから。概要をいいますと、昨年度からの繰り越しを含めない純粋な今年度の収入は約92万円。うち個人からの寄付金が約37万円、助成金が約51万円、その他でした。半分以上は助成金です。支出合計は約89万円で、今年度の純粋な収入の範囲内でした(健全会計です)。内訳の概要は印刷費約43万円。例年と違ってスマレのガイドとフォーラムのちらしを委託したので金額が大きくなりました。会報送付などの通信費が約12万円、備品費が約11万円などでした。2012年度への繰越金は約54万円です。会計監査報告を加々美さんが行ってくださいました。会計と事務局を分離し、誤解を受けないようにお金の管理をしていることまで触れてくださいました。

その後、事務局より2012年度の活動計画と予算案の提案があり、承認されました。今年の注目点は、昨年に引き続いて、案内人でありスマレ・フィールドガイド編集代表である依田さんを講師に春先3回のスマレ観察会を行うことと、10月に群馬県みなかみ町で開催される全国草原サミットへの参加です。全国で草原を守る活動をしている人たちに直接、会ってみませんか？

途中、お忙しい日程を割いて山梨市長の竹越さんが参加して下さり、ごあいさつくださいました。また、東日本大震災が起きた時刻には亡くなられた方々に黙祷を捧げました。

さて、三枝さんと芳賀さんがおいしい茶菓子を準備して下さり、それに舌鼓を打ちながら、座談会は内藤さんの司会で、山梨県で野生鳥獣保護の最前線に立っいらっしゃる小俣さんからシカの管理計画についてお話を聞きました。

【2011年度総会 議案】

1. 2011年度活動報告 (別紙)
2. 2011年度決算報告
3. 会計監査報告
4. 2012年度活動計画案(3頁)
5. 2012年度予算案

市長さんの名刺の
写真は乙女高原の
ヤナギラン



座談会 話題提供者: 小俣 謙さん(山梨県みどり自然課 自然保護担当)

山梨県のニホンジカ管理の現状と展望

- ・シカの生息域が広がっている。暖冬で雪が少ないなど温暖化の影響で高標高地でも冬をすごせるようになってしまった。北岳周辺では標高1700メートルあたりで越冬している。
- ・狩猟者が少なくなったことも、シカ増加の原因の一つ。「オオカミがいなくなったからシカが増えた」と

- いう方もいるが、オオカミは今から100年前に絶滅している。シカが増えた直接の原因ではないだろう。
- ・シカのメスは生後1年でもう繁殖可能。シカは急激に増えることのできる動物である。
 - ・平成22年度までに県内の97%の場所(216メッシュのうち、210メッシュ)でシカが確認されている。
 - ・県のシカ管理のゾーニング(区分け)は、「南アルプス」「八ヶ岳・秩父」「富士北麓・南都留」の3つ。
 - ・狩猟者によるシカ目撃率は県全体で平成15年の約0.5(頭/人/日)から22年の約1.6(頭/人/日)と増加。
 - ・一定ルートを歩いて糞塊数を数える糞塊密度は、県全体で、平成13年は約13(個/km)、22年は約33(個/km)。
 - ・植原注: 目撃率グラフを見ると高レベルが南アルプス地域、低レベルが富士北麓地域なのに、糞塊密度グラフでは、反対に、高レベルが富士北麓地域、低レベルが南アルプス地域になっている。まだまだ科学的に信頼できるレベルのデータになっていないなと感じた。
 - ・以前牧場があった場所や牧場で、糞塊密度が非常に増加している傾向がある。
 - ・そのほかにも区画法(ある区画内のシカを直接数える調査)でシカの生息密度の推定をしている。
 - ・いずれのデータも平成13年以降、「シカが増えている」ことを示している。
 - ・平成22年のシカ推定生息数は、山梨県全体で、多く見積もって約5万9千頭、少なく見積もって約1万3千頭、中間値は3万6千頭。今のところ、データを集めれば集めるほど、数値が動いてしまう。もっと集まると数値が安定してくるのではない。
 - ・シカの捕獲数はずっと500頭程度だったが、平成12年度から少しずつ増え始め、16年には1千頭程度。この後、捕獲条件が徐々に緩和され、18年には約3千頭、21年には6千頭を越えるようになった。
 - ・捕獲数がこんなに増えているのに、まだシカが増えているのだから、もっと捕らなければならない。
 - ・「狩猟」による捕獲はほぼ頭打ちになっていて、「管理捕獲」を増やさないと、シカの捕獲数は伸びない。
 - ・木の皮剥ぎ状況調査をしたところ、富士山麓と八ヶ岳南東麓、秩父山地南麓で被害が多い。
 - ・農業被害は2~3千万円くらいでほぼ横ばい。林業被害はだんだん多くなっており、平成21年に3億円まで増え、22年には2億円に減った。林業被害が多く出ている。
 - ・昭和60年に狩猟免許を持っていた方はのべ7千人。平成22年には3千人と少なくなっている。しかも50歳以上の方がほとんどで、それ以下の方は500人程度しかいない。このままでは狩猟者は絶滅危惧だ。
 - ・シカは越境移動するので、他県と情報交換しながら捕獲等を行わなければならない。
 - ・平成24年から第2期二ホンシカ保護管理計画が始まる予定。保護管理の目標は以下の3つ。
 - 農林業被害の軽減(シカによる農作物被害、造林木被害を軽減する)
 - 生物多様性の保全と再生(シカによる過度の採食圧で植生劣化等が生じている地域において、採食圧を軽減して生物多様性を再生し、長期的に保全する)
 - 県内のシカ地域個体群の安定的存続(県内でシカ地域個体群が絶滅することのないよう安定的に存続させる)
 - ・目標を達成させるために計画対象区域を3つにゾーニングする。
 - 1)農林業ゾーン: 標高1km以下の地域
 - 2)共生ゾーン: 標高1km以上で鳥獣保護区及び特別保護地区以外の地域
 - 3)生態系保全ゾーン: 標高1km以上で鳥獣保護区及び特別保護地区に含まれる地域
 - ・目標を達成させるために、以下のA~Cの施策を総合的に進める。
 - A)個体数管理: 被害が出ない程度の数にする。市町村等による農林業被害軽減を目的とした管理捕獲と県(県猟友会に委託)による自然植生被害軽減を目的とした管理捕獲。いずれも通年。狩猟に関しては、狩猟期間を3月15日まで1カ月間延長し、捕獲頭数の制限撤廃、特例休猟区制度の導入を行う。その他、東京都、長野県など隣接都県との共同捕獲も行う
 - B)生息環境管理: 餌環境の安定化。農耕地及び農耕地に接する林縁の管理
 - C)被害防除: 防護柵等の設置等。自然植生の防除柵については来年度は市町村への補助事業として甲州市の大蔵高丸と南アルプス市の櫛形山に大型柵を設置する予定
 - ・モニタリング調査(糞塊密度調査、区画法。出猟カレンダー調査。農林業、自然植生被害状況調査)も続け、シカの生息数の動向を探る。
 - ・シカの目標密度は、農林業ゾーンで1頭/km²、共生ゾーンで2~4頭/km²、生態系保全ゾーンで1~2頭/km²。この数値を積み上げると、全県で5千頭程度となる。
 - ・植原注: 生息推定数(中間値)が3万6千頭なので、それをもとに計算すると、県内に生息しているシカ7頭につき6頭を捕らなければならないことになる。こんなことが可能か?
 - ・急を要する施策は、シカの頭数を緊急的に減らすこと。とはいえ、シカを捕る人が激減している。
 - ・いろいろな意味で、シカ対策にご協力いただきたい。

話題提供の後もたくさんの質問に答えていただきました。小俣さん、休日だというのに、わざわざおいでくださり、ありがとうございました。なお、この文章の文責は植原にあります。

今年も乙女高原で会いましょう 乙女高原ファンクラブ 2012 年度 活動計画

月	日	曜	時間	項 目	活 動 内 容	場 所
5	13	日	9:30 ~ 12:30	第13回 遊歩道づくり	草原内の遊歩道づくり	乙女高原
5	13	日	13:30 ~ 15:30	第2期 スミレ観察会 その1	乙女高原でのスミレ観察	乙女高原
5	27	日	10:00 ~ 14:30	第2期 スミレ観察会 その2	乙女高原でのスミレ観察	乙女高原
6	10	日	10:00 ~ 14:30	第2期 スミレ観察会 その3	乙女高原でのスミレ観察	乙女高原
6	24	日	10:00 ~ 14:30	第10期 マルハナバチ調べ隊 (初夏編)	マルハナバチの観察・調査	乙女高原
7	?	?	?	市内小学校の 自然教室等への支援		乙女高原ほか
8	5	日	10:00 ~ 14:30	第10期 マルハナバチ調べ隊 (盛夏編)	マルハナバチの観察・調査	乙女高原
8	19	日	10:00 ~ 12:00	乙女高原を歩こう	乙女高原の自然を観察する	乙女高原
8	19	日	13:00 ~ 15:00	遊歩道の杭作り	遊歩道に設置する杭を手作り	乙女高原
9	9	日	10:00 ~ 14:30	第10期 マルハナバチ調べ隊 (初秋編)	マルハナバチの観察・調査	乙女高原
10	27 28	土 日		全国草原サミット ・シンポジウムに参加	群馬県みなかみ市にて。	群 馬 県
11	23	金 祝	9:30 ~ 13:00	第13回 草刈りボランティア	草原の草刈りイベント。藁撒きを継続。	乙女高原
1	?	?	?	ようこそ乙女高原へ展	ロビーにて。展示物の募集。	山梨市民会館
1	27	日	13:00 ~ 15:30	第12回 乙女高原フォーラム	講演等。ゲストのリクエストは?	山梨市民会館
3	10	日	14:00 ~ 17:00	2012 年度 定期総会 第11回 座談会	事業・予算の承認など 懇親を兼ねた座談会	牧丘総合会館

ご寄付をありがとうございました

乙女高原ファンクラブは皆様からの貴重なご寄付によって運営されています。

内藤邦雄様、駒田勝彦様、高島健次様、町田香世子様、桐原武仁様、小口勝子様、天野秀光様
 安富芳森様、左川伸治様、楨田麗子様・幹夫様、雨宮 久様、小林奈都夫様、河添寿子様
 天野侑子様、坂本 浩様、西室幸男様、渡辺慶孝様、齋藤正敏様・恭子様、鈴木 勲様
 和田安雄様、柿崎洋子様、平沢慶子様、市川英雄様、卜部星美様、永谷章二様、中川昌昭様
 倉光 剛様・加寿子様、辻万里奈様、伏見 勝様、若林マサノ様、鈴木健夫様、伊東祥子様
 名執真理子様・義高様、中山寛満様・さかえ様、伊藤紀薫様・菅原美和子様・綾田浩子様
 岡崎 章様・正子様、若月 昇様、高室陽二郎様、田草川敏男様・恒子様、詫間 仁様
 青木隆明様、佐藤 満様、国武陽子様、植松晃一郎様、生山鈴子様、宮原孝男様、浅井聡司様
 土橋せつ子様、川畑悦子様、小林栄勝様、小川紀子様、金子丈夫様、雨宮 寛様、石原章弘様
 雨宮奈枝様、桑原宣子様、依田 昇様、富士急トラベル・エコツアー自然観察ハイク様
 宮崎継雄様、土屋和三様、宇田川文明様、佃 和夫様、小川紀子様、雨宮浦助様、岡部恒彦様
 加藤信子・洋一様、渡辺幸子様、古屋利雄様、(株)石川工務所様、小澤 誠様、岡 武人様
 橋爪強策様、沢登 智様、石嶋基次様、新川和好様、石橋純二様、向山高子様、佃 和夫様
 加々美修様、内藤邦雄様・千歳様、菊地猛三様、芳賀月子様、武川敏行様、鈴木としえ様
 小川裕子様

(2011年4月1日~2012年3月26日)

乙女高原ファンクラブの事務局だよ

郵便振込用紙を同封しました 毎年、年に一度、郵便振込用紙を同封させていただいております。寄付金の送付や乙女高原案内人養成講座の報告書の通販用にお使いください。スマレ観察会と遊歩道づくりのちらし(両面印刷)を2部同封しました。1部はご自分用に、もう一部はご友人等にお渡しください。

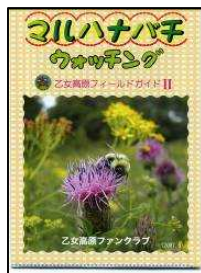
乙女高原ファンクラブの刊行物

乙女高原インタープリテーションのテキスト『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』(A4判 186ページ)乙女高原案内人養成講座の中身と、その後の案内人の活動の様子を一冊の本にしました。希望者には実費でお分けします。1冊1,000円,送料は一冊につき80円。欲しい方は郵便振込で1冊につき1,080円を送金してください。



乙女高原フィールドガイド シリーズ

欲しい方は事務局までご連絡ください。



フィールドガイド 『乙女高原のスマレウォッチング』

(A3判両面カラー)乙女高原では、なんと18種類ものスマレを観察できます。このフィールドガイドでは乙女で見られるスマレたちのプロフィールを紹介するとともに、スマレ観察のポイントをていねいに解説しました。

フィールドガイド 『マルハナバチ ウォッチング』

(A3判両面カラー)マルハナバチの生態,ファンクラブで行っている調査,乙女高原で見られる6種(+2種)のマルハナバチの見分け方をコンパクトにまとめました。

フィールドガイド 『乙女高原のお花たち』

(A3判両面カラー)乙女高原フィールドガイドの第1号。春から秋にかけて咲く47種類の草花を写真つきでコンパクトに紹介。草丈の表示や草花を一言で表したコメントが「分かりやすい」と評判です。

乙女高原ファンクラブの普通会员になりませんか？

乙女高原ファンクラブの会員には普通会员とサポーター会員の2種類があります。会報(ニュースレター)は年4回発行予定です。年に1度は全会員に送っていますが(この号がそうです),あとの3号は普通会员にしか送っていません。

乙女高原ファンクラブに入会するには・・・

- ・「入会します 氏名・郵便番号・住所・電話番号」という内容のファックス,メール,手紙等を事務局までお届けいただければ,いつでも,だれでも会員になれます。
- ・入会金も年会費もありません。乙女高原を守る力が1人分,大きくなります。
- ・普通会员には年4回,サポーター会員には年1回,ニュースレターが届きます。
- ・普通会员には総会出席の義務がありますが(委任状可),サポーター会員にはありません。

乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3
TEL/FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp
会報への原稿や写真等の投稿もこちらにお送りください。
WEB <http://fruits.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ